

2026 年度一般選抜（コア試験・プラス試験）

出題ポイント

歴史総合＋日本史探究

法学部コア試験・文学部（英語英米文化学
科）プラス試験・国際社会科学部プラス試験

出題の意図

I は、人間が集まることをテーマとした古代～近現代にかけての通史の出題で、選択式解答を求める問題。II は、近世の徳川御三家にちなむ出題で、選択式の解答を求める問題。III は、主に近代について、貨幣や日本銀行にちなむ出題で、選択式の解答を求める問題。IV は、古代から中世について、ミスや間違いといったテーマに関して、記述式解答を求める問題。V は、近現代の憲法に関して、記述式解答を求める問題でした。

解答又は解答例

- I. (1) ホ (2) ニ (3) ハ (4) イ (5) ロ
(6) ニ (7) ニ (8) イ (9) イ (10) ロ
(11) ホ (12) イ (13) ハ (14) ホ (15) ニ
(16) ロ (17) ホ (18) ホ (19) ニ (20) ハ
- II. (1) イ (2) ロ (3) ロ (4) ニ (5) ホ
(6) ホ (7) イ (8) ニ (9) ニ (10) イ
- III. (1) イ (2) ロ (3) ニ (4) ハ (5) イ
(6) ニ (7) ホ (8) ハ (9) ロ (10) ホ
- IV. (1) 有職故実 (2) 長講堂領 (3) 蔵人頭
(4) 亀山 (5) 太政大臣 (6) 宗尊親王
(7) 明恵 (8) 正中の変 (9) 平家物語
(10) 徒然草
- V. (1) ロエスレル (2) 元首 (3) 統治
(4) 天皇機関 (5) 国体明徴 (6) 戦力
(7) 交戦 (8) 岸信介 (9) 湾岸戦争
(10) 国連平和維持活動協力法

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

I は基本的な知識を整理しておけば対処できる問題です。II はこれまで聞いたことのないような話題から始まり、驚いた受験者もいたかもしれませんが、問われているのは日本近世史の基本的な内容です。III も江戸時代の内容と明治時代の内容が繋がった出題ですし、まったく知らない人物が登場して驚いたかもしれませんが、これも近現代の知識を丹念に整理しておけば、対応できます。IV や V の記述式解答に関して、他学部の記述式問題の場合にも同様なのですが、最近の受験生の動向として、用語が正確に書けない、あるいは書こうとした際に漢字を思い出せない、といったことが増えている傾向にあると思われます。学習の際に、選択式の問題練習で済ませるだけでなく、実際

に紙と鉛筆で書いてみるという訓練を実践してほしいと思います。基本的な知識を理解していても、実際に書けないと正解には至らないので、その部分の努力は必要です。

経済学部コア試験・法学部プラス試験

出題の意図

I は、交易を中心とした経済活動をテーマとした古代～近現代にかけての通史の出題で、選択式解答を求める問題。II は、古代における東北地方の歴史的展開に関する出題で、選択式の解答を求める問題。III は、中世について、風呂にちなむ出題で、選択式の解答を求める問題。IV は、近世の領主をテーマとして、記述式解答を求める問題。V は、主に近現代における女性の社会参画をテーマとして、記述式解答を求める問題でした。

解答又は解答例

- I. (1) ニ (2) ロ (3) ハ (4) ホ (5) イ
(6) ニ (7) ホ (8) ロ (9) ※解答なし (10) イ
(11) ハ (12) イ (13) ニ (14) ハ (15) ロ
(16) ロ (17) ニ (18) ホ (19) ハ (20) ロ
- ※出題不成立により受験者全員に与点した。
- II. (1) ニ (2) イ (3) ロ (4) ホ (5) ハ
(6) ロ (7) ニ (8) ハ (9) ホ (10) ハ
- III. (1) ニ (2) イ (3) イ (4) ロ (5) ハ
(6) ホ (7) ニ (8) ロ (9) ホ (10) ハ
- IV. (1) 加賀 (2) 勘定奉行 (3) 甲州道中
(4) 曲亭馬琴 (5) 商場知行 (6) 堀田正俊
(7) 名主 (8) 芸能 (9) 徳川斉昭
(10) 家慶
- V. (1) 三条実美 (2) 輔弼 (3) 通信
(4) 電話 (5) 女子英学塾 (6) 市川房枝
(7) 貴族院 (8) 産業報国会 (9) 民主党
(10) 中曽根康弘

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

I の(20)のニクソンショックなどは、高等学校の授業ではなかなか扱う時間もとれないかもしれません。出題する側としては、経済学部コア試験・法学部プラス試験であることも念頭において、法学部や経済学部の学生に関心をもってもらいたい内容を考えた出題も組み入

れていますので、教科書の内容についてはひと通り整理しておいていただければと思います。Ⅲは、問題文を読んでみて、テーマに驚いた受験者もいたことでしょう。しかし、内容的には基本的な知識を整理しておけば対応できる問題です。ⅣとⅤの記述式解答に関して、法学部コア試験・文学部プラス試験・国際社会科学部プラス試験のところでも言及しましたが、漢字が正確に書けていない解答が目立ちます。学習の際に、実際に紙と鉛筆で書いてみるという作業を怠らず、しかも、正確に書けていることを見せる答案を心がけていただければと思います。

文学部コア試験

出題の意図

Ⅰは、商人をテーマとした古代～近現代にかけての通史の出題で、選択式解答を求める問題。Ⅱは、室町時代の細川氏にちなむ出題で、選択式の解答を求める問題。Ⅲは、平安時代の摂関家の動向をテーマとした出題で、記述式解答を求める問題。Ⅳは、近代の牧野伸顕にちなむ出題で、記述式解答を求める問題。Ⅴは、近世の正徳の政治について、論述式解答を求める問題でした。

解答又は解答例

- I. (1) ホ (2) ロ (3) ハ (4) ニ (5) イ
(6) ホ (7) イ (8) ロ (9) ニ (10) ロ
(11) ハ (12) ホ (13) ハ (14) イ (15) ニ
(16) イ (17) ホ (18) ニ (19) イ (20) ロ
- II. (1) ハ (2) ホ (3) ホ (4) イ (5) ロ
(6) ニ (7) ハ (8) イ (9) ニ (10) ロ
- III. (1) 延久 (2) 記録荘園券契所 (3) 大江匡房
(4) 平等院鳳凰堂 (5) 安倍頼時 (6) 藤原清衡
(7) 中尊寺金色堂 (8) 頼長
(9) 梁塵秘抄 (10) 愚管抄
- IV. (1) 坂下門外の変 (2) 津田梅子 (3) 蕃書調所
(4) 狩野芳崖 (5) 文部省美術展覧会 (6) 段祺瑞
(7) 輔弼 (8) 塘沽
(9) 日本改造法案大綱 (10) 帝国国策遂行要領
- V. (以下は模範的な解答例)

6代将軍家宣は、儒者の新井白石と側用人の間部詮房を信任して新たな政治を始め、7代将軍家継の時期まで引き続き行われた。慶長小判と金含有率が同等の正徳小判を鑄造し、物価の高騰を抑えようとしたほか、海舶互市新例を出して外国との貿易を制限し、

金・銀が海外に流出するのを防いだ。また朝鮮通信使への待遇を簡素化して財政負担を削減するとともに、将軍への呼称を「日本国大君」から「日本国王」に改めさせ、将軍の地位を明確に示した。さらに、家継と皇女との婚約を整えるなどして幕府と天皇家の結びつきを強め、閑院宮家を創設した。

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

Ⅰは、基本的知識をもとに解ける問題。Ⅱは、少しひねった問題文ですが、小問で問われているのは、基本的な知識で対応可能な内容です。Ⅲでは、「平等院鳳凰堂」や「梁塵秘抄」と書くべきところで「鳳凰」や「梁塵」の漢字が書けていないケースが見られました。記述式解答の場合には、漢字が正確に書けないと得点には至りませんので、歴史用語を自分自身の手で書く経験が必要です。実際に書いて覚えることを実践してください。Ⅳの(4)や(5)は、なかなか授業で扱われることがないかもしれません。しかし明治時代の文化史を考える上では重要な視点ですので、教科書をもとに学んでおいてもらいたいところです。

Ⅴの論述問題は、正徳の政治について述べる問題でした。教科書等をもとによく学んでいるようで、内容をよく整理して記述した答案が割合多く見受けられました。しかしながら、享保の改革以後の内容しか述べていなかったり、逆に元禄時代の内容しか書かれていない答案も散見されました。時代のキーワードとともに、基本的な知識をよく整理して理解しておく必要があります。海舶互市新例の「例」を「令」とした誤記も多く、記述式解答の場合と同様に、用語を実際に書いてみる経験が必要です。

国際社会科学部コア試験・経済学部プラス試験

出題の意図

Ⅰは、女性史をテーマとした古代～近現代にかけての通史の出題で、選択式解答を求める問題。Ⅱは、古代の北部九州にちなむ出題で、選択式の解答を求める問題。Ⅲは、近代の日本とメキシコやブラジルとの関係にちなむ出題で、選択式の解答を求める問題。Ⅳは、中世の貨幣に関する出題で、記述式解答を求める問題。Ⅴは、近現代のアジア諸国との関係に関して、記述式解答を求める問題でした。

解答又は解答例

- I. (1) ロ (2) ホ (3) ニ (4) イ (5) ニ
(6) ニ (7) ロ (8) ホ (9) ホ (10) ロ
(11) イ (12) ホ (13) ロ (14) ハ (15) ニ
(16) イ (17) ハ (18) ハ (19) ハ (20) イ

- II. (1) ハ (2) ニ (3) ロ (4) イ (5) ロ
(6) ハ (7) ホ (8) イ (9) ニ (10) ホ
- III. (1) ハ (2) ホ (3) ハ (4) ロ (5) ニ
(6) ロ (7) ホ (8) イ (9) ハ (10) ホ
- IV. (1) 延久の宣旨枅 (2) 藤原兼実 (3) 藤原秀衡
(4) 十三湊 (5) コシャマイン (6) 大内裏
(7) 割符 (8) 撰銭令 (9) 灰吹法
(10) 種子島時堯
- V. (1) タイ (2) ビルマ (3) サイパン
(4) 日ソ中立条約 (5) バンドン (6) 日韓基本条約
(7) 田中角栄 (8) N I E S (9) 平成
(10) 侵略

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

I は女性史をテーマとしていて、こうした整理が高等学校の授業の中で取り扱われる機会は少ないかもしれませんが、各小問で問われている内容は基本的な知識ですので、基本事項を整理しておけば対応できる問題です。III も、日本とメキシコやブラジルとの関係という内容で、初めて聞くような話題が多く、面食らった受験者もいたかもしれません。しかし、小問で問われているのは、基本的な知識をあてはめて、選択したり、消去法で解いていったりする問題ばかりです。テーマの幅の広さに驚くことなく、基本的な知識の学習を進めて、それをもとに活用して取り組むという姿勢で臨んでいただければと思います。

記述式の解答の場合、「大内裏」の「裏」の漢字が正確に書けていなかったり、「種子島」が「種ヶ島」となっている解答が目につきました。簡単な文字や用語なので分かっているつもりでも、実際に書いてみると間違っただけになってしまっているといったケースが散見されます。書いて覚える努力を惜しまずに取り組みましょう。

国際文化交流学部コア試験

出題の意図

I は主に縄文時代に関する問題。II は院政期の政治と文化、宗教に関する問題でした。III は江戸幕府の成立期の出来事に関する問題。IV は幕末から戦時にかけての農村をテーマとした問題でした。

解答又は解答例

- I. (1) ① (2) 三内丸山 (3) ④
(4) ① (5) サヌカイト (6) ②
(7) ③ (8) ③ (9) ② (10) ④

- II. (1) 藤原頼長 (2) 讃岐 (3) 愚管抄
(4) 法勝寺 (5) ③ (6) ③
(7) ① (8) ② (9) ④
(10) ③
- III. (1) 外様 (2) 原城 (3) 寺請 (寺壇、檀家)
(4) 日光東照宮 (5) 俵屋宗達 (6) ④
(7) ② (8) ③ (9) ②
(10) ④
- IV. (1) 時 (2) 東海 (3) 伝馬 (人足)
(4) ② (5) ① (6) 定免
(7) 地租改正 (8) ③ (9) ②
(10) 供出

問題の出題趣旨と解答の際の留意点

I は、世界遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」を事例とした、主に縄文時代に関する問いとなっています。とくに、前後の時代と異なる特色を理解しておくことが重要でしょう。II は院政期の政治と文化、宗教に関する問題です。基本的な知識で対応できる問題ですが、「愚管抄」や「讃岐」など、主要な単語は実際に手で書いて、正確な漢字を覚えておく必要があると思います。III は、江戸幕府の成立期の出来事に関する問題です。幕藩体制や幕府の政策についての問いだけでなく、問 10 のような文化に関する理解を問う問題もあります。IV は山川菊栄『わが住む村』を題材に、幕末から戦時にかけての農村をテーマとした問題です。設問内容は基本的な事項を問うものばかりですが、文化や思想を含めた幅広い分野について正確な基礎知識を身につけることと、世界史総合分野もおろそかにしないことが大事です。